

様式第 2 号

| | | | |
|--|-------------------|----|-------|
| 視察研修先 | 神奈川県寒川町議会 | 氏名 | 鈴木みゆき |
| 視察研修項目 | オープントーク Café について | | |
| <p>感想・所見など</p> <p>寒河江市と姉妹都市である神奈川県高座郡寒川町及び寒川町議会に初めて訪問させていただきました。姉妹都市を結んで 30 年の歴史があり、寒川町の浜降祭と寒河江市の寒河江神輿などでそれぞれ交流が続いていることが分かりました。</p> <p>寒川町は人口が 48,273 人、世帯数 19,630 世帯（平成 31 年 4 月 1 日現在）。人口が増えつつあるとのこと。寒川町といえば、寒川神社が有名です。約 1600 年の歴史を有する神社で、ご祭神は寒川比古命、寒川比女命の二柱の神様です。すべての災いを取り除き福德開運をもたらす神様として信仰されています。参拝客は初詣だけで約一万人、年間約 200 万人は参拝客でにぎわうとのことでした。</p> <p>今回研修させていただいたオープントーク Café は、寒河江市議会で行っている議会報告会を更に進化させたものであると思えました。寒川町議会も議会報告会をしていましたが、町民と対面式で座り、議会への苦情や陳情、要望、個人的な持論を長々と展開する場面が多い。参加した町民は面白くない、不満、もう出なくてもいいかな、という感想を持つものです。そこで、岩手県久慈市に行き、大学の教授から研修を受け、ワールドカフェを取り入れました。</p> <p>【ワールドカフェとは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・席替えをする「井戸端会議」 ・カフェのようにリラックスした雰囲気 ・参加者全員で話し合っているような効果が得られる <p>※「発散」が目的で合意形成が目的ではない。</p> <p>【運営方法として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全議員が出席 バッチはつけないで私服 ・各テーブルに議員 2 人程度 ・BGM をかけドリンクコーナー、菓子も置く ・A3 コピー用紙に無記名で感想を記入する <p>※これらは議員の政務活動費から支出(今年度は一人 3,000 円)</p> <p>※テーブル毎の話し合い 15 分×3 ラウンド</p> <p>土曜日の午前中などに開催したので、子育て世代の方々も参加でき、幅広い世代の意見交換が可能になっている所がとても良いと思えます。特定の人が意見を述べるのを聞く従来までの議会報告会と違い、参加した町民みんなが参加できる点もすばらしいと思えます。満足度の高いシステムだと感心致しました。</p> | | | |

様式第2号

| | | | |
|---|--------------|----|-------|
| 視察研修先 | 神奈川県寒川町議会 | 氏名 | 鈴木みゆき |
| 視察研修項目 | 協働のまちづくりについて | | |
| <p>感想・所見など</p> <p>頂いた資料によると、協働とは、「町民の皆さんと町がお互いに理解・補完し合いながら役割を果たし、対等な立場で同じ目的に向かって寒川のまちづくりを進めること」とあります。</p> <p>協働の事例紹介として、①「寒川みんなの花火」では、町民側が・イベントの企画運営・各種関係機関との調整等を分担し、町側が広報活動協力・官公庁への各種手続きの協力・資材の貸し出し等を分担します。これにより、効果的に実施することができたとあります。</p> <p>また、②「花ボランティア活動」では、寒川町役場からさむかわ中央公園西側、県道46号沿道に花植えや雑草の手入れなどをする目的で、町民が・ボランティアの募集・活動の企画運営・花苗の準備提供・水やり等定期的な管理を分担し、町側が、県へ花苗の提供依頼・広報紙やホームページへ掲載・ボランティアとして活動に参加するなど分担します。これにより、参加人数も増え、作業効率が上がった。花の彩りにより明るい印象を与え、町民に親しまれるようになった。ゴミのポイ捨ても減り、町民の美化意識の向上につながったとあります。</p> <p>どうして協働が必要なのか。少子高齢化等の様々な社会状況の変化により、地域課題や町民ニーズが多様・複雑化し、町民だけ町だけでの解決が困難となっています。そこで、町民側の“よいところ”と町側の“よいところ”を組み合わせることによって、より効果的な取り組みが期待できるのです。</p> <p>地域主体のまちづくりの推進、町民参画の推進、情報の共有・広聴機能の充実とありますが、中でも町民参画の推進は、見習うべき内容であると思います。基本方針として、「より一層町民に開かれた、町民参加型の町政運営を行う。基本的な方向性として、各種審議会や委員会への参加や傍聴の機会、行政と町民との対話の機会を充実し、町民の参画を促進します。」とあります。自治基本条例として定められていることにより、より個性的で魅力的なまちづくりには、町民と町がそれぞれ責任を果たしながら、連携して協働してすすめていく必要があるとみなぎが認識できるものであると思いました。</p> | | | |

様式第2号

| | | | |
|---|----------|----|-------|
| 視察研修先 | 農林水産省 | 氏名 | 鈴木みゆき |
| 視察研修項目 | 地域農業について | | |
| <p>感想・所見など</p> <p>令和2年度農林水産関係予算は、2兆3,109億円。 (令和元年度は2兆3,108億円)前年と同額にちかい。 このほか「臨時・特別の措置」1,008億円 令和元年度補正 5,849億円</p> <p>この度、強化する部分として、農林水産物・食品の政府一体となった輸出力強化と高付加価値化とあります。</p> <p>① 司令塔組織の創設として12億円 ② 輸出手続きの迅速化として3億円 ③ 生産段階での食品安全確保への対応強化として10億円 ④ 輸出拠点の整備などで15億円 ⑤ グローバル産地づくりの強化として5億円 ⑥ 戦略的なマーケティング活動の強化として28億円</p> <p>海外に輸出することに重点を置いている予算であることが分かりました。</p> <p>本市としては、</p> <p>○農業の6次産業化の推進として31億円 前年より10億円多い ○女性農業者、家族農業経営、法人経営など、多様な担い手の育成・確保と農業の「働き方改革」の推進として213億円 などが大きく関係すると考えます。</p> <p>6次産業化の市場拡大に向けて、6次産業化プランナーが行う事業者に対するサポート体制の整備等を支援していくこと。</p> <p>農業人材力強化の為の、総合支援事業はこれから必要なものです。次世代を担う人材を育成・確保するため、就農準備、経営開始に要する資金の交付、雇用就農を促進するための農業法人等での研修、サポート活動やリカレント教育(学びなおし)の実施等を支援する。</p> <p>やはり、新規就農者は農業だけで生活が成り立つのか、これが一番の不安要因です。就農前二年間と、就農後五年間支援していただけるならば少しは安心感があります。後継者の負担を軽減するための経営相談体制の整備を都道府県ごとに支援することもこれから必要なものではないかと思われました。</p> | | | |

様式第2号

| | | | |
|--|----------|----|-------|
| 視察研修先 | 厚生労働省 | 氏名 | 鈴木みゆき |
| 視察研修項目 | 地域医療について | | |
| <p>感想・所見など</p> <p>2040年の医療提供体制を見据えた3つの改革として</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 医療施設の最適配置の実現と連携 ② 医師・医療従事者の働き方改革 ③ 実効性のある医師偏在対策 <p>を掲げている。①は地域医療構想の実現を2025年まで。②は医師の時間外労働に対する上限規制を2024年まで。③は偏在是正の目標年を2036年としている。</p> <p>本市としても現実に問題となっているのが、①の医療施設の最適配置の実現と連携だと思います。2019年までに、全ての医療機関実績データ分析を完了し、「診療実績が少ない」または「診療実績が類似している」と位置付けられた公立・公的医療機関等に対して、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえつつ、医師の働き方改革の方向性も加味して、当該医療機能の<u>他の医療機関への統合</u>や<u>他の病院との再編統合</u>について、地域医療構想調整会議で協議し改めて合意を得るよう要請する予定としている。そこで挙げたのが山形県立河北病院です。</p> <p>所在地が「近接」していることについての分析は、「自動車の移動時間が20分以内の距離」と定義しています。車の移動で決めた基準があるとする、本市と河北町は20分で移動できる為、近隣であると考えられます。市町村をまたいで再編統合の協議をすること自体、とても難しい問題であると思いました。</p> <p>人口減少と医師不足という深刻な問題が迫ってくる中、地方との考え方の違いがあるとなかなか進まないと思いますし、今後、もっと意見交換をしていただき、地域医療構想調整会議の議論を活性化していただきたいと思います。</p> | | | |